

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2023年6月30日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 愛知県知多郡武豊町字竜宮1番地1	
氏 名 J E R Aパワー武豊合同会社	
代表職務執行者 中川 哲	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0569-72-3001	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	J E R Aパワー武豊合同会社 武豊火力発電所
事業場の所在地	愛知県知多郡武豊町字竜宮1番1
計画期間	2023年4月1日から2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	電気業
② 事業の規模	設備容量：1,070,000 (kW)
③ 従業員数	8人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
排出事業者 J E R A パワー武豊合同会社		【業務委託契約】 株式会社 J E R A 武豊火力発電所	
代表職務執行者	事業管理部長	事業管理課長	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (2022年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	※
	排 出 量	4,216 t	t
	(これまでに実施した取組) [汚泥] 脱水設備の運転確認を行い、汚泥中含水率を低減し排出量を抑制している。 ※汚泥を含む排出量全体実績については、別紙2参照		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	※
	排 出 量	1,640 t	t
	(今後実施する予定の取組) [汚泥] 脱水設備の機能維持により、引き続き含水率を低減し排出量を抑制する。 [その他] 有価売却可能な石こう等の分別回収により、廃棄物の排出を抑制する。 ※汚泥を含む排出量全体計画については、別紙2参照		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別困難な廃棄物の排出は無く、すべての廃棄物について、種類ごとに分別をした。		
③ 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続き、すべての廃棄物について分別を実施する。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	※	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
<p>廃棄物処理委託は、再生利用業者の事業内容・再生内容等を随時確認し積極的な再生利用処理を推進した。</p> <p>※ 別紙3参照</p>			

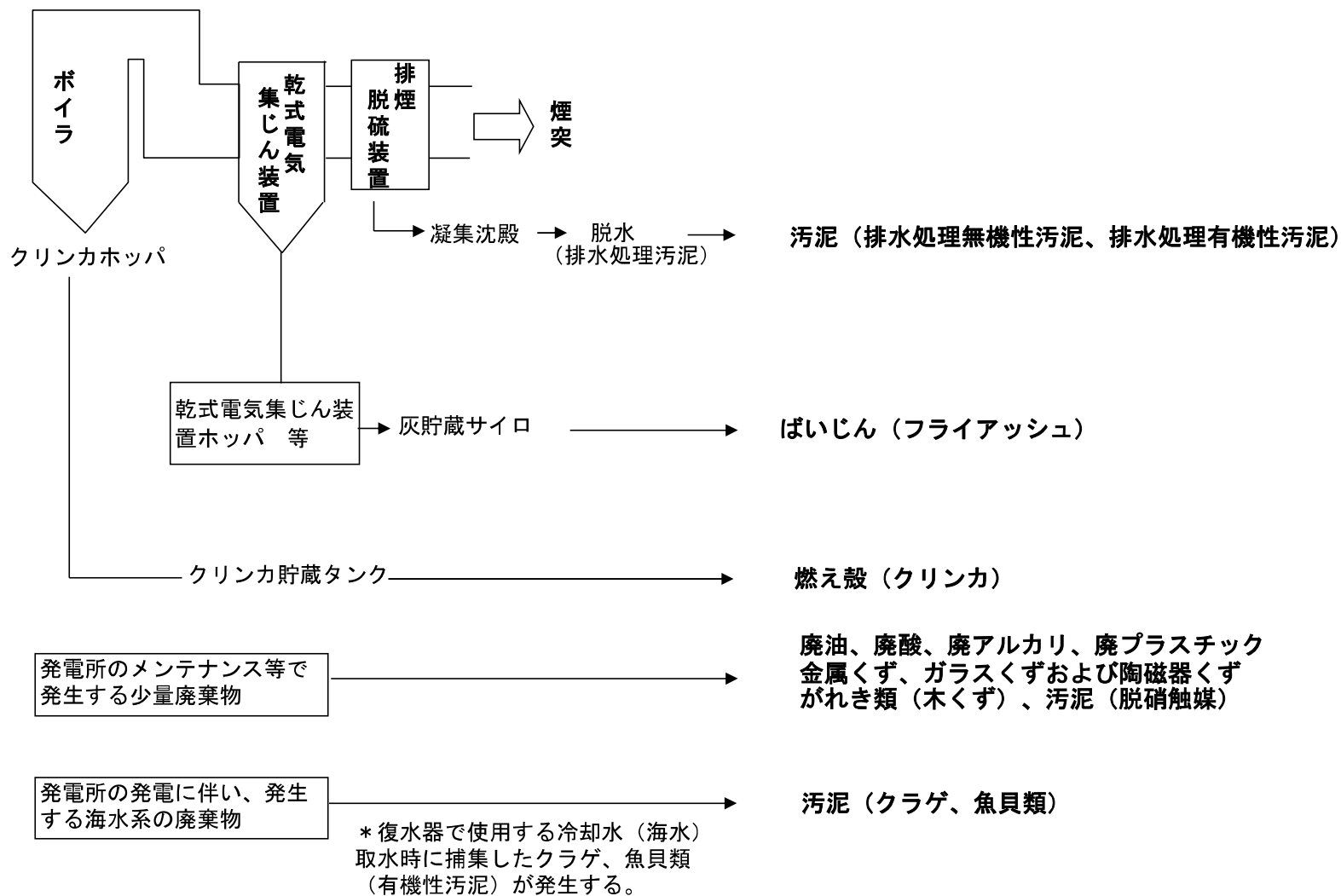
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	※	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>引き続き再生利用業者への委託を実施し、あわせて優良認定業者、認定熱回収業者への廃棄物処理委託を検討・推進する。</p> <p>※ 別紙3参照</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

武豊火力発電所 産業廃棄物発生フロー図

別紙 1



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

1 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項
【前年度(2022年度)実績および計画(目標)】

産業廃棄物の種類	前年度(2022年度)実績 排出量(t)	計画(目標) (t)
汚泥	4,216	1,640
廃プラスチック類	0	0
廃油	6	14
廃酸	16	0
ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず		1
金属くず		2
燃え殻	19,873	15,272
ばいじん	276,077	290,166
合計	300,188	307,096

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

1 産業廃棄物の処理の委託に関する事項【前年度(2022年度)実績】

産業廃棄物の種類	処理委託量				
	全処理委託量 (t)	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
汚泥	4,216	4,216	4,216	18	
廃プラスチック類	0	0	0	0	
廃油	6	6		6	
廃酸	16	16	16		
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず					
金属くず					
燃え殻	19,873	2,935	19,873		
ばいじん	276,077	18,338	276,077		
合計	300,188	25,511	300,182	24	0

2 産業廃棄物の処理の委託に関する事項【目標】

産業廃棄物の種類	処理委託量				
	全処理委託量 (t)	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
汚泥	1,640	1,640	1,640	12	
廃プラスチック類	0				
廃油	14	14	14	11	
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1	1	1		
金属くず	2	2	2		
燃え殻	15,272	3,215	15,272		
ばいじん	290,166	30,000	290,166		
合計	307,096	34,872	307,095	23	0